

NISA口座開設・利用状況調査結果 (平成26年12月31日時点)

日本証券業協会

調査結果の概要（平成26年12月末時点） 【全証券会社対象】



	3月末時点	6月末時点	12月末時点 (6月末時点比)
NISA取扱 証券会社数	129社	131社	130社
総口座数	4,215,774口座	4,632,298口座	5,130,914口座 (11%増)
稼働口座数	—	1,329,222口座	2,330,874口座 (75%増)
稼働率	—	28.7%	45.4%
購入金額	6,080億	9,202億	1兆8,258億円 (98%増)
平均購入金額	—	692,267円	783,329円

「稼働口座数」は、NISA口座での買付があった口座の数

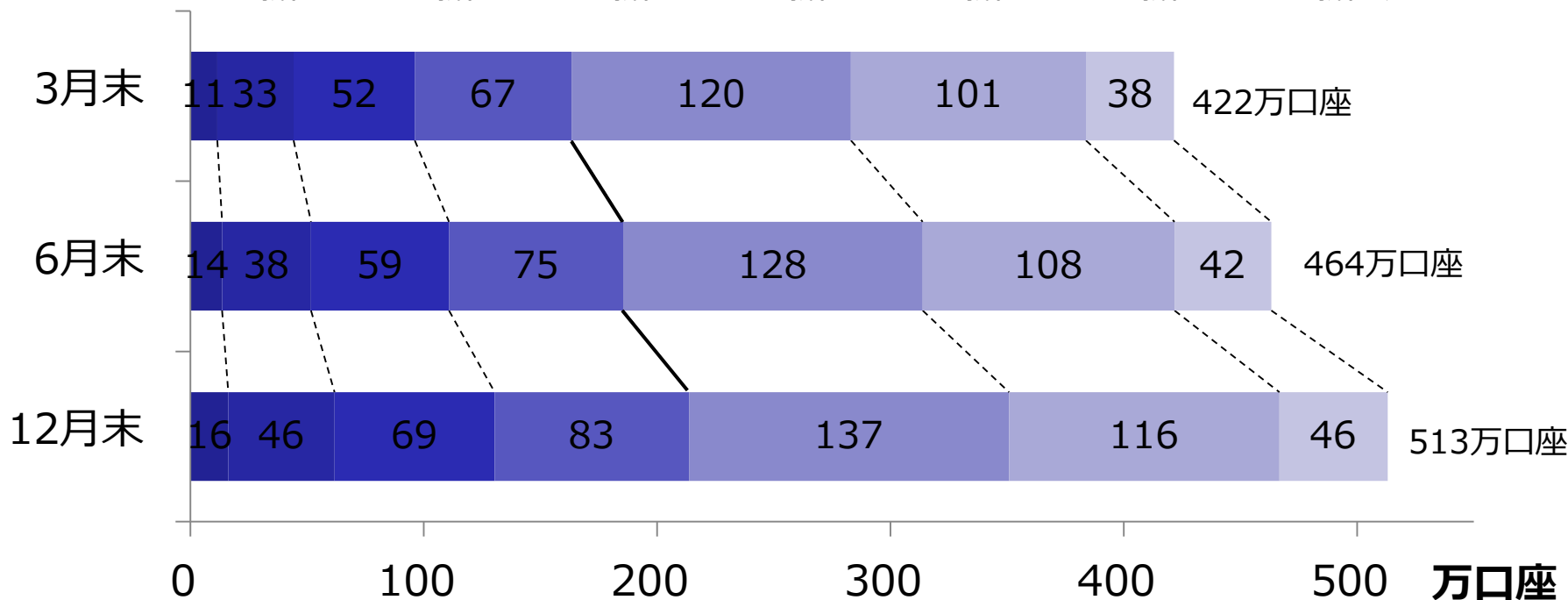
「稼働率」は、総口座数に占める稼働口座数の割合

「平均購入金額」は、1稼働口座における平均の購入金額

1. 証券会社のN I S A口座開設状況① (平成26年12月末時点) 【全証券会社対象】



■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳代以上

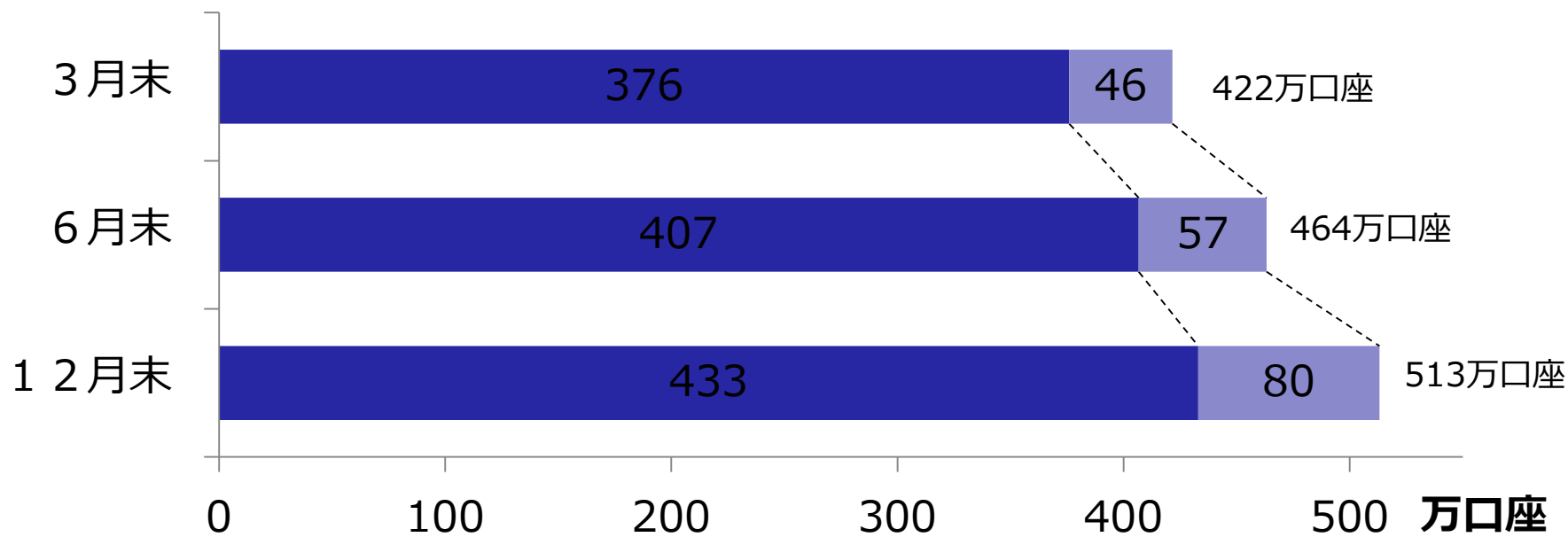


- 証券会社のN I S A口座数は、12月末時点で513万口座となり、6月末時点と比較して、49万口座（11%）増加した。金融庁が公表した平成26年12月末のN I S A総口座数の速報値（824万口座）と比較すると、証券会社のN I S A口座数は、全体の62%を占める。
- 年代別で見ると、12月末時点で60歳代以上の口座数は全体の58%（299万口座）を占めており、前回調査と同様、口座開設者は高齢層が中心となっている。
- その一方で、6月末時点と比較して、最も口座の増加数が多かったのは40歳代（10万口座、17%増加）、増加率が高かったのは30歳代（8万口座、20%増加）であり、20歳代から40歳代ではそれぞれの増加率が15%を超えているなど、若年層へのN I S Aの浸透が見受けられる。

1. 証券会社のNISA口座開設状況② (平成26年12月末時点) 【全証券会社対象】



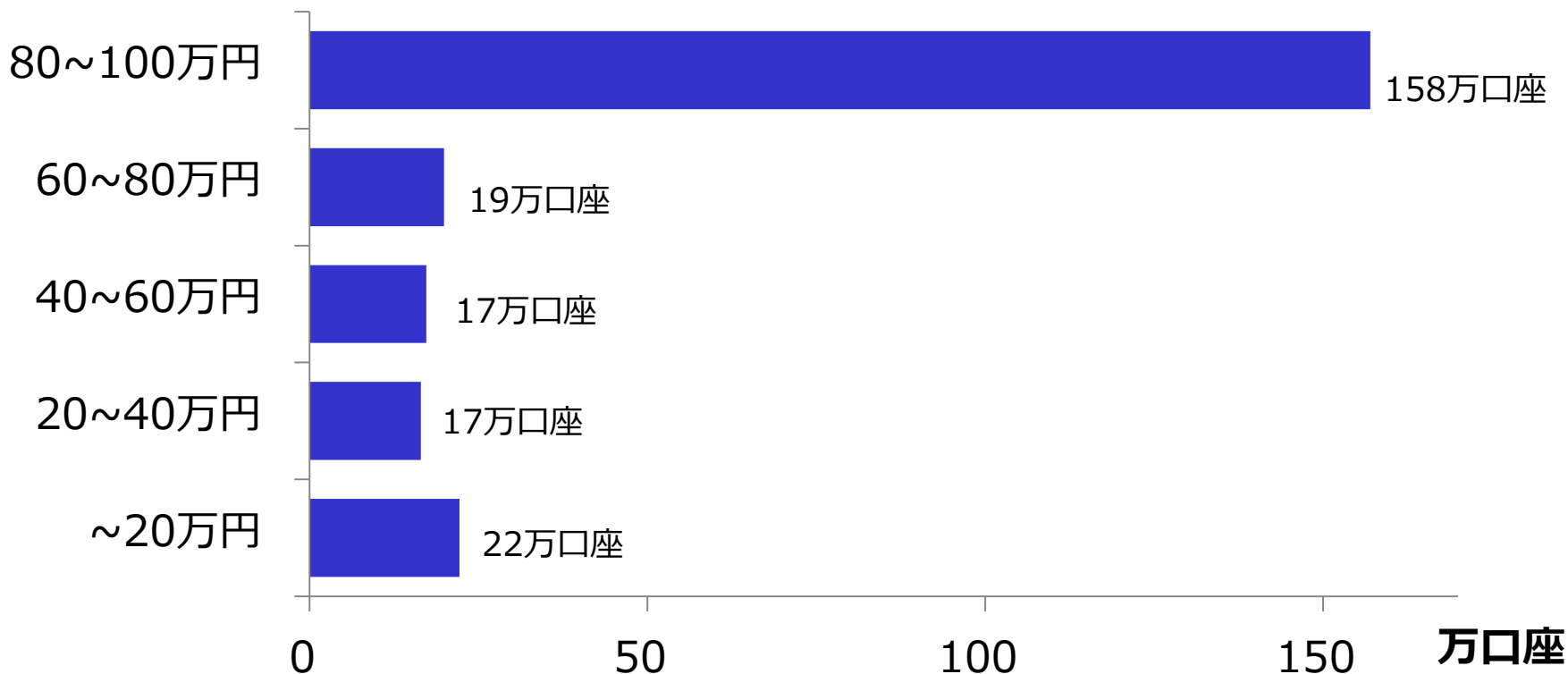
■ 投資経験者 ■ 投資未経験者



- 投資経験者・未経験者別で見ると、6月末時点から12月末までの間の投資未経験者の増加率は、40.3% (23万口座増加) となっており、投資経験者の増加率が6.4% (26万口座増加) と比較すると高い数字になっている。

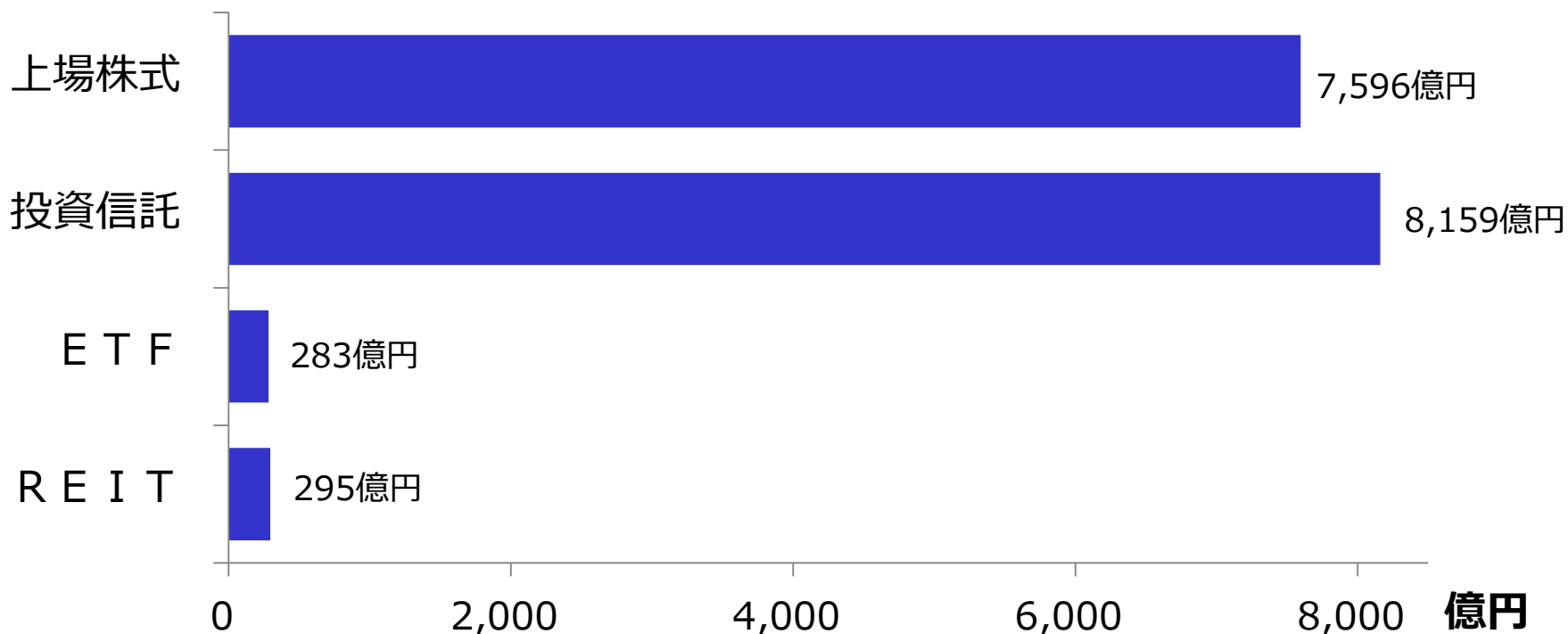
※「投資未経験者」は、報告のあった証券会社において平成25年4月1日以降に証券総合口座を開設した投資家

2. 証券会社のNISA口座の稼働口座数・購入額分布 (平成26年12月末時点) 【全証券会社対象】



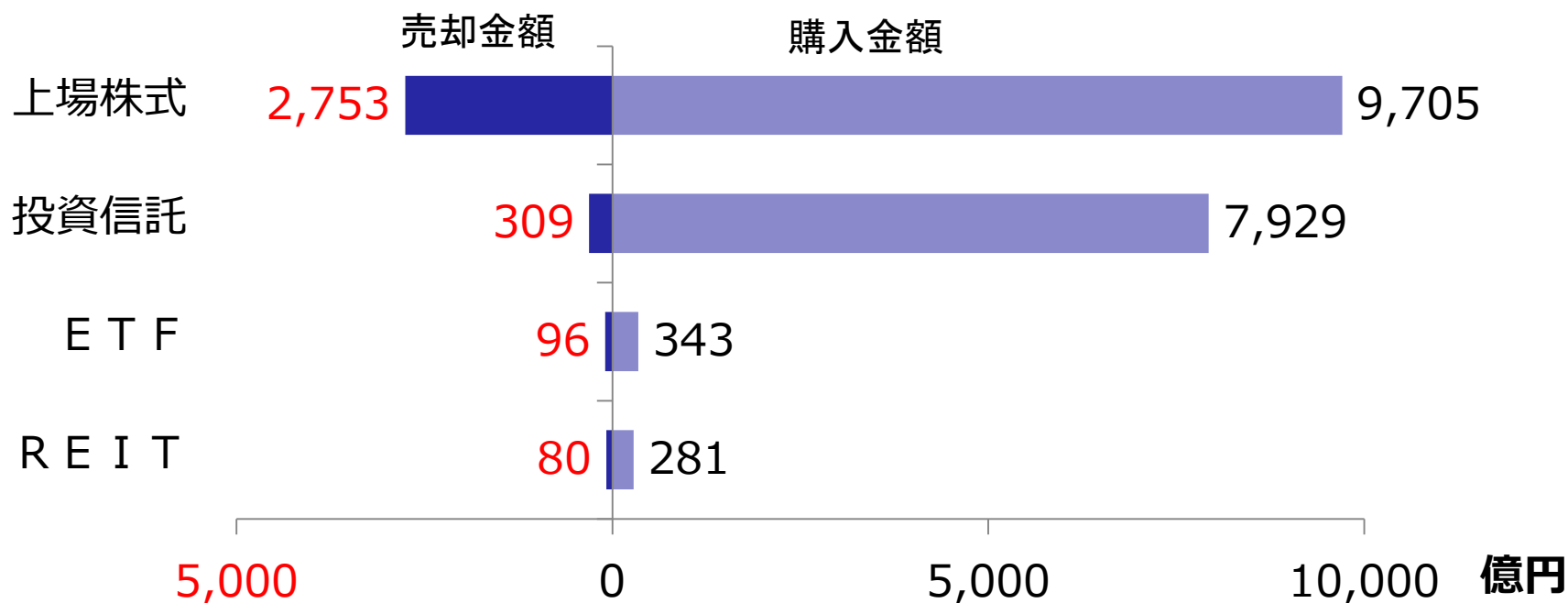
- 証券会社のNISA口座で買付があったのは233万口座、全口座数の45%
- 買付があった口座のうち、68%の口座が平成26年非課税枠のうち、80万円~100万円を利用している。
- 年代別で見ると、80万円~100万円を利用している口座では、60歳代以上の年代では70%を超える（60歳代73%、70歳代71%、80歳代以上71%）一方、20歳代、30歳代では50%台（20歳代54%、30歳代57%）に留まる。
- 投資経験者・未経験者別で見ると、ともに6割以上の口座で80万円~100万円を利用している（投資経験者68%、投資未経験者62%）。

3. 証券会社のN I S A口座の残高 (平成26年12月末時点) 【全証券会社対象】



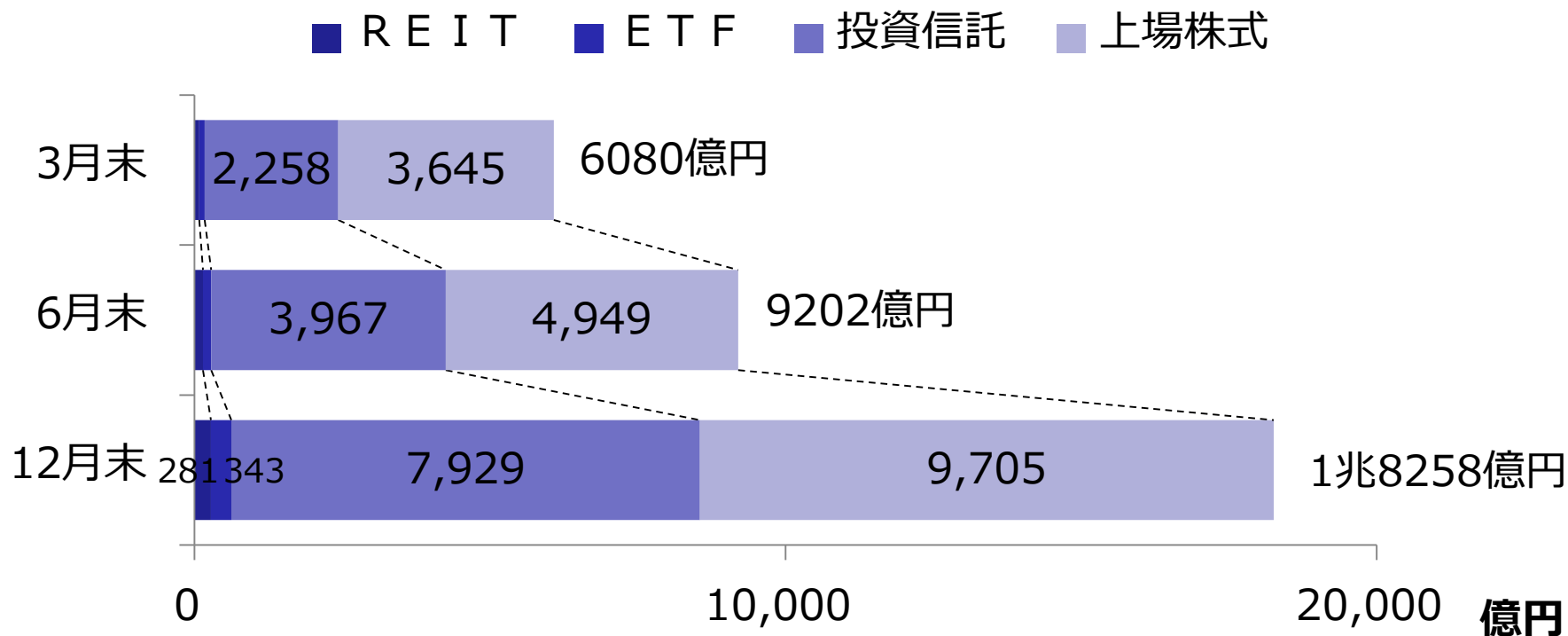
- 12月末時点の証券会社のN I S A口座の残高は、1兆6,333億円となった。稼働口座1口座あたりの平均残高は70万円
- 商品別では、株式投資信託の残高が最も多く(8,159億円)、次いで上場株式(7,596億円)となっている。
- 年代別では、各年代間で商品の残高の比率に大きな差はないが、30歳代及び40歳代は上場株式の割合が比較的高く、50%を超えている。
- 投資経験者・投資未経験者別では、商品の残高の比率にほとんど差はなく、上場株式が45%程度、株式投資信託が50%程度となっている。

4. 証券会社のN I S A口座での取引状況 (購入金額・売却金額) 【全証券会社対象】



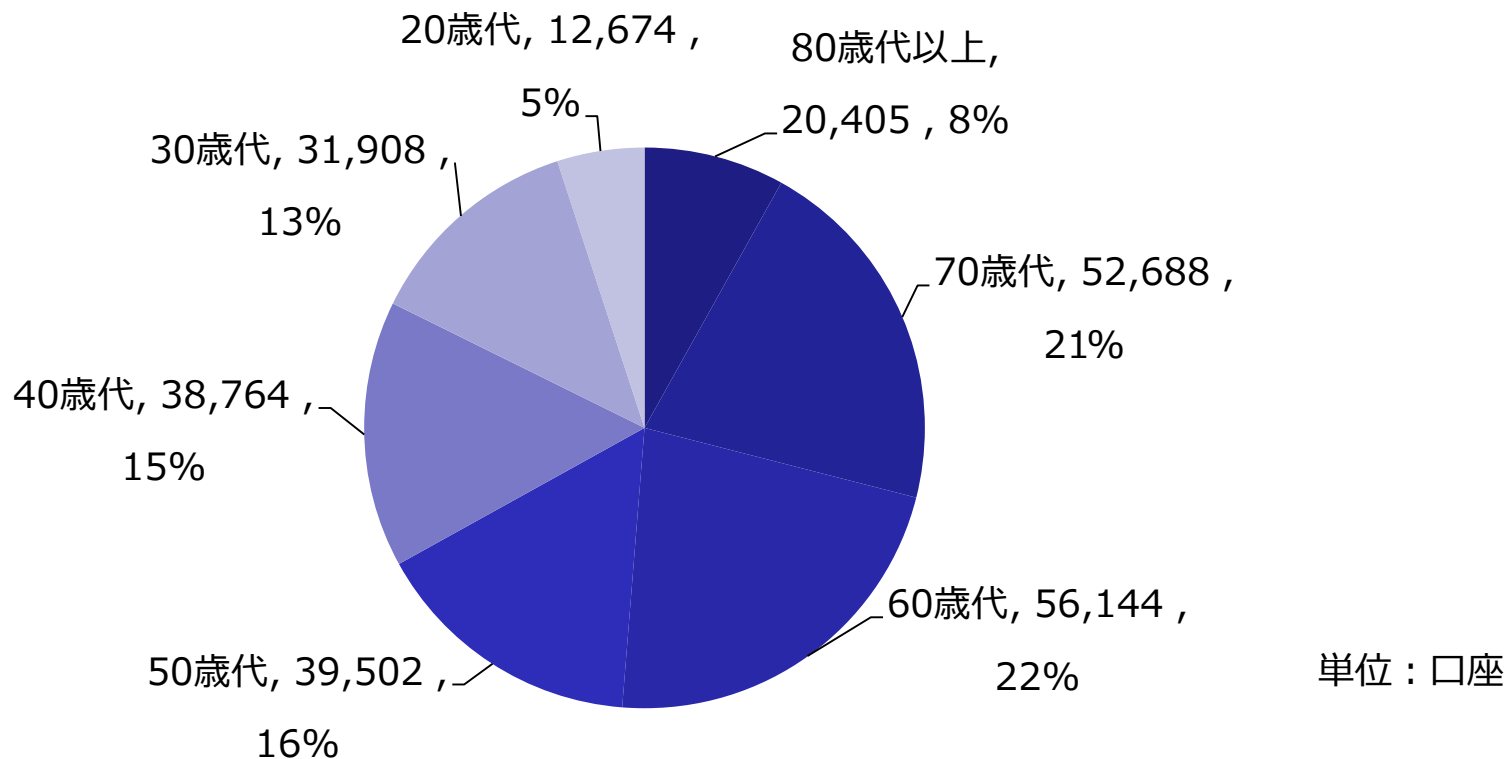
- 12月末時点の証券会社のN I S A口座での購入金額は1兆8,258億円、売却金額は3,238億円となった。
- 最も購入されたのは上場株式 (9,705億円 購入金額の53%)、次いで株式投資信託 (7,929億円 購入金額の43%) となった。
- 購入金額と比較して最も売却金額の比率が小さい商品は、投資信託 (4%) であり、上場株式 (28%) と比較すると売却された比率はかなり小さい。

5. 証券会社のN I S A口座での取引状況 (購入金額) 【全証券会社対象】



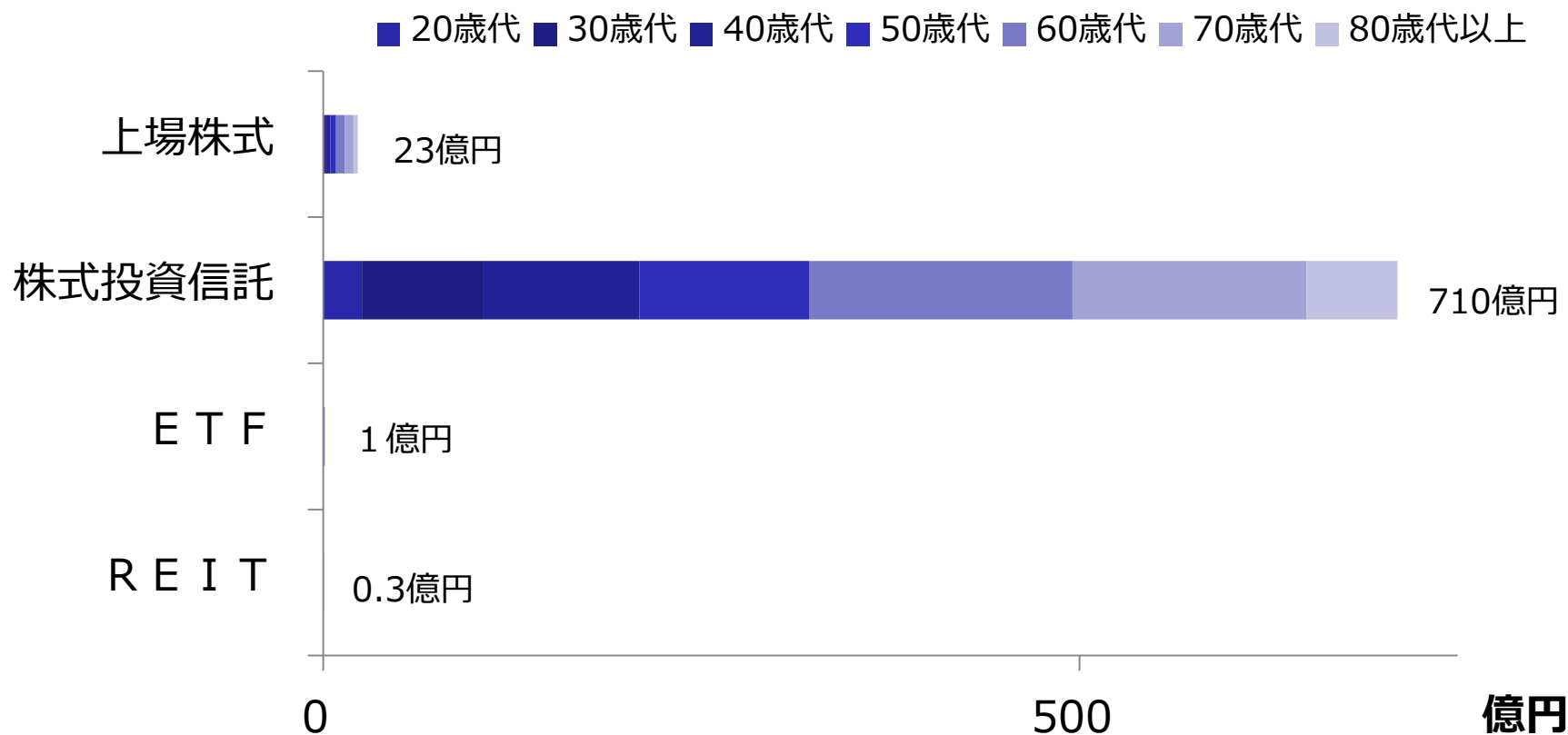
- 12月末時点の証券会社のN I S A口座の購入金額は、1兆8,258億円となり、6月末時点と比較して9,057億円（98%）増加し、ほぼ倍増となった。
- 商品別で見ても、E T Fを除く各商品で購入金額はほぼ倍増している（E T Fは144%増加）。
- 金融庁が公表した平成26年12月末のN I S A口座の購入総額（2兆9797億円）と比較すると、証券会社のN I S A口座での購入金額は、全体の61%を占める。

6. 証券会社のNISA口座の積立年代別 口座数・設定額の様況【全証券会社対象】



- 12月末時点で、NISA口座での積立買付を取扱っている証券会社は34社となった。
- 証券会社のNISA口座で積立買付を契約しているのは25万口座（稼働口座数の11%）、1口座あたりの1月あたりの平均積立設定額は43,772円となった。
- 年齢別で見ると、20歳代～40歳代で全体の33%を占めている。

7. 証券会社のNISA口座の積立購入額 【全証券会社対象】



- 12月末時点での証券会社のNISA口座における積立買付による購入金額は、734億円となり、全体の買付額の4%となった。
- 商品別では、株式投資信託が710億円（積立購入総額の97%）がほとんどを占める。